

元アムステルダム市長 ヨブ・コーヘン氏会見

「理解には対話が必要」



本紙記者の質問に答えるヨブ・コーヘン氏(左)(8月27日、アムステルダム市内で) = 木村誠撮影

【1面参照】世界初の同性結婚法成立に携った元アムステルダム市長のヨブ・コーヘン氏との一問一答は以下の通り。
(本紙特派員団)

同性結婚法の制定に
関わった経緯は?

1998年に法務副大臣に就任し法案の作成に関与した。2001年にアムステルダム市長に就任し、同年4月1日の同法施行日に世界初の同性カップル4組の結婚式を取り仕切った。その時どう感じましたか。

市長として最も大きい仕事の一つだった。副大臣として法案提出時から携わってきたため、感慨もひとしおだった。結婚式の参加者は皆幸せそう、これがあるべき姿だと感じた。

同性結婚法制定後オランダ、特にアムステルダムの状況はどのように変化しましたか。

同法の制定以前から、アムステルダムは同性愛者に寛容な世界有数の都市だった。状況はどのように変化しましたか。

オランダでは、同性愛者や同性愛者にかかわらず事実婚を選ぶカップルが少なくないため、当初は同性

Think LGBT+



同法の制定以前から、アムステルダムは同性愛者に寛容な世界有数の都市だった。状況はどのように変化しましたか。

オランダでは、同性愛者や同性愛者にかかわらず事実婚を選ぶカップルが少なくないため、当初は同性

オランダでは、同性愛者や同性愛者にかかわらず事実婚を選ぶカップルが少なくないため、当初は同性

オランダでは、同性愛者や同性愛者にかかわらず事実婚を選ぶカップルが少なくないため、当初は同性

総合選抜 募集人数と2次試験の科目・配点

	文系	理系Ⅰ	理系Ⅱ	理系Ⅲ
募集人数	128人	154人	41人	90人
1科目目	外国語(英・独・仏・中)から1 500点			
2科目目	世界史B 日本史B 地理 倫理 数学II B	から1 数学II III B		
	500点	500点	600点	
3科目目	国語	物理+ 化学 生物 地学	物理・化学・生物・地学 から2	
	500点	500点	500点	400点
調査書	50点			
大学入学共通テスト	900点			
合計	2450点			

筑波大学入学試験の資料を元に作成

入試改革の概要固まる

【1面参照】筑波大学は7月、平成33年度から実施する「総合選抜」などの入試改革の概要を公表した。総合選抜は、一般入試の前期日程で実施し、入学定員2065人のうち20%の413人を募集。新たに高等学校の調査書を50点満点で点数化し、そこで主体性なども評価する方針だ。一方、現在、学類別で行われている前期日程の入試も「学類・専門学群選抜」と名称を変えて実施。だが日本語・日本文化と知識情報・図書館の2学類は同選抜を行わず、前期日程では総合選抜だけを実施する。(秋田耕平)

総合選抜 4区分で募集

総合選抜は体育専門学群を除く24学類・専門学群が実施し、受験科目や配点が異なる「文系(理系Ⅰ)」「理系Ⅱ」「理系Ⅲ」で行う。総合選抜と学類・専門学群選抜は同じ前期日程で実施することから、同様の入試問題を出題する。総合選抜で入学した学生は、1年次の成績と希望を考慮し、2年次からの学類を決める方針だ。学生は文理

変わる大学

24学類・専門学群への進級が可能。だがこの際、「物理学類では理系Ⅰの学生を多く受け入れる」というように、入試時の選抜区分によって各学類の受け入れ人数に優先枠を設ける学類も多い。

一方、新たに実施する調査書の点数化は、昨年度科学省が公表した「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」が、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をより積極的に評価するよう求めたことを受けたもの。点数化の基準などの詳細は現在、検討中という。

また、学類・専門学群選抜では全募集人員の約43%に当たる879人を募集する。関係者によると、一部の学類では従来の筆記試験に加え、面接や小論文の実施も検討している。

全学学群入試改革検討委員会委員の山中弘教授(人文学部)は「総合選抜は受験生の進路の幅を広げるもの

だ」と考えている。1年間かけてさまざまな学問分野を知り、自分に合った分野に進めるようになることを期待している」と語った。

このほか、推薦入試では心理学類が大学入学共通テストを課す方式に変更する。また、後期日程を教育、心理、障害科、物理化学の5学類で新たに実施する。一方、比較文化、情報科、情報メディア創成の3学類ではそれを廃止する方針だ。

収蔵庫から大発見

パレオパラドキシア 保存状態は良好

筑波大学の古生物標本収蔵庫で60年以上保管されていた骨の化石が、1000年以上前に絶滅



再鑑定した骨を持つ木村研究員(7月26日、本部棟で) = 秋田耕平撮影

した海生哺乳類の「パレオパラドキシア」の右大腿骨であることが国立科学博物館や筑波大などの研究チームの調査で分かった。化石の状態は筋肉と骨の接

合部が分かるほど非常に良く、国内でも非常に珍しいという。今後、生態解明の手がかりになると期待されている。

パレオパラドキシアは約2300~1000万年前に、北太平洋沿岸地域の浅海に生息していた、体長約3.5メートルの哺乳類。化石は筑波大の前身・東京教育大学時代から収蔵庫に保管され、発掘地などの詳細が不明のまま別の哺乳類と鑑定されていた。

だが昨年6月、筑波大の収蔵庫を調査していた同博物館(分室・つくば市天久保)の木村由利研究員がこの化石に注目。研究チームが当時のメモなどを調査した結果、化石は福島県湯温泉町(現・福島市)で発掘されたことを確認した。さらに再鑑定の結果、パレオパラドキシアの骨である

と判明した。調査に加わった筑波大の上松知子准教授(生環系)は「再鑑定の結果に、子どものように喜んだ。普段研究をしている建物内から見つけたので非常に驚いている。古生物学的な側面から研究を進めている」と語った。化石は今後つくば市内で展示される予定。(木村誠、12面に関連写真)

若溪会に新組織
産業界との連携
産業界で働く卒業生同士

発足式では、江田昌佑理事長(現名義教授)が「若溪・筑波産業界倶楽部」に期待する」という題で講演を行ったほか、卒業生の交流の必要性などについて意見交換が行われた。

一般社団法人若溪会の電話番号は、03-399410136。(越智小夏)

世論とネットの関係を議論

横浜で国際会議「CeDEM」開催

政治をめぐる世論の分断とネットの影響を考えた「CeDEM(E-デモ

クラシィ・オープンガバメント国際会議)アジア大会」が7月12、13日

政治をめぐる世論の分断とネットの影響を考えた「CeDEM(E-デモクラシィ・オープンガバメント国際会議)アジア大会」が7月12、13日

政治をめぐる世論の分断とネットの影響を考えた「CeDEM(E-デモクラシィ・オープンガバメント国際会議)アジア大会」が7月12、13日

政治をめぐる世論の分断とネットの影響を考えた「CeDEM(E-デモクラシィ・オープンガバメント国際会議)アジア大会」が7月12、13日

政治をめぐる世論の分断とネットの影響を考えた「CeDEM(E-デモクラシィ・オープンガバメント国際会議)アジア大会」が7月12、13日



発表する参加者(7月12日、ローズホテル横浜で) = 原直樹撮影

政治をめぐる世論の分断とネットの影響を考えた「CeDEM(E-デモクラシィ・オープンガバメント国際会議)アジア大会」が7月12、13日

政治をめぐる世論の分断とネットの影響を考えた「CeDEM(E-デモクラシィ・オープンガバメント国際会議)アジア大会」が7月12、13日

政治をめぐる世論の分断とネットの影響を考えた「CeDEM(E-デモクラシィ・オープンガバメント国際会議)アジア大会」が7月12、13日

政治をめぐる世論の分断とネットの影響を考えた「CeDEM(E-デモクラシィ・オープンガバメント国際会議)アジア大会」が7月12、13日

県人会で「プチ帰省」

日本各地、世界各国から学生が集まる筑波大学には、「県人会」や「留学生会」が多数存在し、故郷を離れ一人暮らしをする学生によりどころとなっている。今回はその中でも大規模な6団体を紹介する。郷愁に駆られる秋、11月の雙峰祭では、出身地の店を訪れるなどしては……。(木村誠二文学部、越智小夏二比較文化学類、飯田健介、牧田宗大二社会学類、田所涼、遠子内早紀二教育学類)

一人暮らし学生のよりどころ

広島

1985年発足の、筑波大で最も歴史のある県人会の一つ。「会員相互の連絡を図り、広島文化を共有し、世間に広める」目的で設立され、現在約80人が所属する。



昨年の雙峰祭で広島風お好み焼きを作る会員ら＝広島県人会提供

最も力を入れている活動は、宿舎祭や雙峰祭での「広島風お好み焼き」の調理・販売。定評のあるおひしきで、毎年、販売前から長蛇の列ができ、800食を売り上げる。こだわりの、ソースやおタマゴソース(広島市西

山梨



山梨の名物であるほうとう＝山梨県人会提供

「地元愛が大きくなった」

現在、会員は45人。主な活動は、雙峰祭での山梨県民のソウルフード「ほうとう」の調理・販売だ。ほうとうは、太くて長い麺をかぼちゃなどの野菜と共に、みそ仕立ての汁で煮込んだもの。山梨県の製麺所から麺を仕入れるなどこだわりの、毎年ほぼ完売の盛況ぶりだ。

沖縄

1993年に、同県出身の受験生支援のために発足。会員は約50人で、月に数回交流会などを行う。

雙峰祭で「エイサー」披露



雙峰祭のステージで「エイサー」を披露する会員たち＝知念由子さん提供

現在の主な活動は、雙峰祭での「エイサー」の披露だ。旧盆の時期に踊られる「女手踊り」を行う。会員は、中学や高校でエイサーを踊ったことがある人がほとんどで、中には三線を習っている会員も。だがエイサーは、団体や地域ごとに振り付けや楽曲が異なる。このため、同会で伝統的に踊られる振り付けを覚えることを目的に、本番の半年前から練習を開始。直前の1カ月間はほぼ毎日集まりの練習をする。

韓国留学生会

1999年に発足し、会員は38名。活動は月に1泊ホテルまで送ったり、受験会場の下見にも同行する。また、面接の助言も行う。交通費などの費用は会費で賄い、受験生は支払う必要はない。

就活セミナーも開催

また、日本で就職した韓国人留学生のOBや、日本の大学院に進学したOBを招き、就職活動や大学院入試の経験談を話してもらうセミナーも開催。会長は「ハンジンウさん(在留3年)は「留学生と日本人学生の就職は違う部分が多い。就職した先輩が後輩に話をしたい」と名乗り出てくれた」ともある」と話す。

福井



平砂浴場で販売されていた「ローヤルさわやか」＝福井県人会提供

また、福井県庁と協力して福井県内の企業の就職情報をまとめ、提供する構想もあるという。会員の一人は「地元で就職したいが、つばにいと地元就職情報を得にくい。実現するだけでも助かる」と話す。和田さんは「大学生活を楽しむ場所の一つとして県人会は非常に魅力的だと思ふ。今後いろいろな活動を考えたい」と語った。

茗溪会の助成金

筑波大やその前身の各大学の同窓会組織茗溪会は、昨年度から、県人会に助成を行っている。同じ出身地の学生や卒業生同士の交流促進を行っていることが助成条件だ。



昨年の雙峰祭で伊勢うどんを販売した三重県人会＝三重県人会提供

同会の担当者は「新しい制度だが、積極的に活用してほしい。また各都道府県にある茗溪会の組織とも連携し、就職などその人脈を生かしてほしい」と話している。

記者の声



竹添そら

か……。男性の発表は本のあるが中心だった。だが男性は小さな声で、そして時折つかえながらも、真剣だった。

「私は図書館の片隅の化石」
彼も、自らをそう例えた。全く舞台慣れしていない。だが彼を舞台へと駆り立てた「本への思い」の強さに深く感動した。これら大会の参加者は「自分の好きな本への思いから赴く。」

2016年12月の高校レプリオバトル決勝大会(東京都千代田区)オランダ人作家、トーン・

込む余地はあるのだろうか。入試案内に「チャンプ本(第1位)に選ばれたこと入試の合否は無関係」とある通り、入試の評価基準は、本来の競技とは異なる。入試では勝敗に関係なく、「より説得力のある説明の者」、質疑応答では「より質問力の高い者、的確に回答している者」の配点が高くなるという。これでは、先述の男性のように

入試 違和感覚える入試への導入 合格目的の競技に意義あるか

筑波大学知識情報・図書館学類は、11月の推薦入試から、レプリオバトル形式の書評会「レプリオバトル」を使う集団面接を導入する。だが、どうしても入試へのレプリオバトル導入に違和感を覚えている。私自身、高校から同競技を始めたが、レプリオバトルは「好きな本をより多くの人に読んでほしい」という「本への愛」や「思い」から行うもので「合格のため」のものではないと思うからだ。大学の発表によると、入試時の評価基準は、本来の競技のそれとは異なっている。

歴代の全国大会優勝者が口々に「この本の良さを知ってもらえたい」と語るのもこのためだ。だが、入試では「合格のため」に本を選び、「合格のため」に練習をする。そこに競技の根幹である「本への思い」が入り込んでいない。

レプリオバトルの本「ハリネズミの願」の紹介の男性は、お世辞にもうまいとは言えなかった。体を覆う自分の針が嫌いで動物たちと付き合えないハリネズミ。ある日、パーティーを考案するが、一体どうしたらいいのかわからない。

本への愛と情熱で聴衆を巻き込み、一票を集める型破りな発表が入試の場で姿を消すのは間違いないと思う。そこでは受験対策のマニュアルに基づく無難な「合格確実」なものが軒を連ねるのではない。

筑波時評

7月15日、フランスの5大会ぶり2度目の優勝でワールドカップ(W杯)ロシア大会の幕が閉じた。日本代表は下馬評の低さを覆し、初の8強進出まであと一歩という戦いを見た。ここではプレー内容ではなく、W杯を機に見えてきた選手の育成、スポーツと科学技術という2点について考えたい。

今大会、日本代表メンバー全23人中、クラブ出身11人、高校クラブ出身者が高校出身者の数を取り組んでいる。だが、これまでW杯時の代表メンバーで、クラブ出身者が高校出身者の数が多いのは、その後の成長の違いが影響しているといえる。海外ではサッカーはクラブで育つもので、毎日が評価の場。良ければ上位のクラブやカテゴリーで競技でき、悪ければそれが叶わないことが日常だ。つまり幼少の頃から苛烈な競争、圧力の中で競技しているといえる。高校出身の選手は幼いころか

その数が逆転するという現象が起きているのは、その後の成長の違いが影響しているといえる。海外ではサッカーはクラブで育つもので、毎日が評価の場。良ければ上位のクラブやカテゴリーで競技でき、悪ければそれが叶わないことが日常だ。つまり幼少の頃から苛烈な競争、圧力の中で競技しているといえる。高校出身の選手は幼いころか

その数が逆転するという現象が起きているのは、その後の成長の違いが影響しているといえる。海外ではサッカーはクラブで育つもので、毎日が評価の場。良ければ上位のクラブやカテゴリーで競技でき、悪ければそれが叶わないことが日常だ。つまり幼少の頃から苛烈な競争、圧力の中で競技しているといえる。高校出身の選手は幼いころか

小井土 正亮 助教 (コーチング学)



体育系・助教。筑波大学蹴球部監督。2003年筑波大学人間総合科学研究所体育学専攻修了。Jリーグガンバ大阪など3クラブのコーチを経て、14年より現職。

その数が逆転するという現象が起きているのは、その後の成長の違いが影響しているといえる。海外ではサッカーはクラブで育つもので、毎日が評価の場。良ければ上位のクラブやカテゴリーで競技でき、悪ければそれが叶わないことが日常だ。つまり幼少の頃から苛烈な競争、圧力の中で競技しているといえる。高校出身の選手は幼いころか

その数が逆転するという現象が起きているのは、その後の成長の違いが影響しているといえる。海外ではサッカーはクラブで育つもので、毎日が評価の場。良ければ上位のクラブやカテゴリーで競技でき、悪ければそれが叶わないことが日常だ。つまり幼少の頃から苛烈な競争、圧力の中で競技しているといえる。高校出身の選手は幼いころか

その数が逆転するという現象が起きているのは、その後の成長の違いが影響しているといえる。海外ではサッカーはクラブで育つもので、毎日が評価の場。良ければ上位のクラブやカテゴリーで競技でき、悪ければそれが叶わないことが日常だ。つまり幼少の頃から苛烈な競争、圧力の中で競技しているといえる。高校出身の選手は幼いころか

ロシア W杯 今大会から判定に新技術 サッカー特有の魅力失うな

その数が逆転するという現象が起きているのは、その後の成長の違いが影響しているといえる。海外ではサッカーはクラブで育つもので、毎日が評価の場。良ければ上位のクラブやカテゴリーで競技でき、悪ければそれが叶わないことが日常だ。つまり幼少の頃から苛烈な競争、圧力の中で競技しているといえる。高校出身の選手は幼いころか

その数が逆転するという現象が起きているのは、その後の成長の違いが影響しているといえる。海外ではサッカーはクラブで育つもので、毎日が評価の場。良ければ上位のクラブやカテゴリーで競技でき、悪ければそれが叶わないことが日常だ。つまり幼少の頃から苛烈な競争、圧力の中で競技しているといえる。高校出身の選手は幼いころか

その数が逆転するという現象が起きているのは、その後の成長の違いが影響しているといえる。海外ではサッカーはクラブで育つもので、毎日が評価の場。良ければ上位のクラブやカテゴリーで競技でき、悪ければそれが叶わないことが日常だ。つまり幼少の頃から苛烈な競争、圧力の中で競技しているといえる。高校出身の選手は幼いころか

反射鏡

駅前再開発、何を望む?

【地球1年・女性】 保育所や託児所などの子どもを預けることができる施設。つくば市では待機児童が問題となっており、また保護者が立ち寄りやすい駅前にあると便利だと思

【地球2年・女性】 入試の際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球3年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球4年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球5年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球6年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球7年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球8年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球9年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球10年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球11年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球12年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球13年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球14年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球15年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球16年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球17年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球18年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球19年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球20年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

あなたの学類自慢

【人文1年・男性】 学生が個性が強く、さまざまな人がいる。1年次から専門的な学問が学べるので、深い教養が得られる。

【人文2年・女性】 アニメや漫画など、文化に関わることならなんでも研究できる。自分の興味関心を学問につなげられる。

【理工1年・男性】 面白い人が多く、出会いの場が豊富にあり、数学の先生がお手本をくれたり、多様な経験を持つ人が多

【地球1年・女性】 保育所や託児所などの子どもを預けることができる施設。つくば市では待機児童が問題となっており、また保護者が立ち寄りやすい駅前にあると便利だと思

【地球2年・女性】 入試の際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球3年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球4年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球5年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球6年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球7年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球8年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球9年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球10年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球11年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球12年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球13年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球14年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球15年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

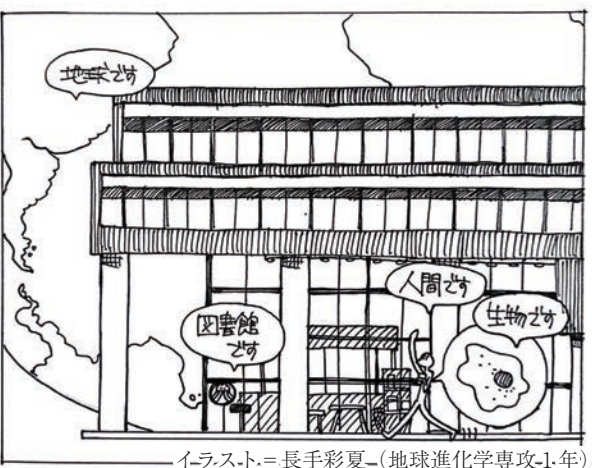
【地球16年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球17年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球18年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球19年・男性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。

【地球20年・女性】 入学的際にイオンにお世話になったので、手頃な値段で家具や日用品を買ったことが嬉しい。



イラスト=長手彩夏(地球進化学専攻1年)

少年時代の思い出を描く

「おとしもの」 絵本を人形劇に

筑波大学人形劇団「おとしもの」が8月30、31日の二日、つくば市民ギャラリー(つくば市吾妻)で開かれ、訪れた約20人の観客は精緻な人形や物語の世界に引き込まれた。

「おとしもの」はオーストラリア人絵本作家のシヨン・タン作「ロスト・シング」を同劇団が舞台化。主人公が少年時代に出会った赤い奇妙な生物との思い出を回想する話で、大人に見向きもされず迷子だったその生物の「いるべき場所」を主人公と一緒に探す様子が描かれる。原作は2010年に英国とオーストラリアが共同でアニメ映画化し、11年にアカデミー賞を受賞した。

上演では、舞台と音楽の一体感を持たせるために、同劇団が新たに挿入曲の作曲を企画した。原作のファンで、演出を担当した稲田和巳さん(又劇2年)は「規則から外れたものを許容する大切さ」を主題に舞台化した。これまでに見たことがない生物を(人形で)製作するのが難しかったと話した。

同劇団は筑波大の前身・東京教育大学時代から続いており、現在は大学院生を含めた6人で活動。作品は8月に長野県飯田市で開かれた「いい大人形劇フェスタ」や茨城県守谷市の小学校での公演など、計6回上演されている。

(西村大祐 写真)



奇妙な生物(左)と主人公を動かす団員(8月30日、つくば市民ギャラリーで)

芸術の魅力を紹介

夏のキッズアート体験

「夏のキッズアート体験」(主催・関影商事)が7月29日にスタジオS(つくば市二の宮)で行われた。会場には筑波大学芸術系の学生や、関影商事青年会つづけば市二の宮などが計9ブースを出展。色紙を使った本を作ったり、シャボン玉を使って絵を描くなどの「アート体験」を楽しんだ。

この中で、筑波大の芸術専門学群の学生たちは「メルトビーズで工作しよう!」を出展。メルトビーズは熱で溶け、冷えると固まる性質を持ち、子どもたちはビーズでキーホルダーなどを作っていた。

主催した関影商事の葉草二総務部長は「今後も筑波大と連携し、地域貢献の一環として子どもたちにアートの魅力を紹介したい」と話した。

同社と筑波大芸術系組織は2016年から、芸術連携支援「スタジオS with I」を行っており、同イベントもその一環。5回目の開催となる今回は当初、28、29両日を予定していたが、台風12号の影響で28日は中止された。(後基志II社会学類1年、写真)



スタッフの学生とともに色紙を使って工作する子どもたち(7月29日、スタジオSにて)

体験型アートを楽しむ

つくばメディアアートフェス

つくば市主催の「つくばメディアアートフェス」が7月28日から8月5日まで茨城県つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれ、約3500人が来場した。

「メディアアート」は科学技術を利用した芸術作品。今回は「見て、体験して学べる 科学×アート」をテーマに、「筑波大学工学芸術連携リサーチユニット」など17組が出展した。作品は来場者の参加・体験型が多かったが、中でも注目を集めたのは勝部里菜さん(感性2年)、内山俊朗准教授(芸術系)、望月愛海さん(平成29年度芸術専門学群卒)の「nenurium」。来場者がカメラに囲われたヘッドに寝かされて、東洋と西洋の学問史にパラダイム論を応用して、制度の側面から体系的にまとめたものです。著者の中山茂は、パラダイム論の提唱者であるクレーンの「科学革命の構造」(みすず書房)を翻訳しています。現在は、書名を『パラダイムと科学革命の歴史』(講談社)と変えて文庫化されています(元の書名の方が好きです)。

制度の側面から見た学問史とは、紙や印刷術の発明と伝播、大学や学会などの学術組織の成立と発展、紙・印刷術と学会が結びついた学術雑誌の誕生、そして、19世紀における科学者の専門職業化などを中心に扱っていることを指しています。



「まつりつくば」はためけるものゝ音して秋祭 諸鳥の殊に雀よ秋祭 ゆく水に藻の霞みをり秋祭

つくば市民になって5年目の今年、初めてまつりつくばが行った。夏休みはまだまだ中盤だが、立秋は過ぎていたので、俳人的には「秋祭」ということになる。ポストモダン建築のど真ん中で催されるまつりつくばに、「秋祭」という古色蒼然とした響きはちょっと似合わないが、暮れ方になっていよいよ秋の華やかさはやはり祭らしい。大学施設や研究所から離れたところで、続く、昔ながらの祭の魅力も捨てがたい。(文・俳句 堀下翔II文芸・言語専攻1年)

「自然の調和」という美しさ

縦70センチ、横35センチの大作家。花器は、高さ約40センチ、幅約35センチの青い陶器。大きく広がった生け口には、直径約センチほどの花弁が美しいようにまとまる白のおいらん草、八重咲きの橙の姫向日葵が密集する。そして、その茂みの中からすらりとした放射状に伸びるのは、6つの細長い花弁が反り返った赤のグロリオサだ。

夏から秋にかけて盛りを迎える花材ばかりだ。半球状に盛り上がる姫向日葵に太陽を、グロリオサに揺らめく炎を感じる。溢れ出る夏の熱気。そして、その熱を和らげるかのように咲く白の花々と、青の花器。湖畔の水辺を連想させた。剣山を



高田さんの作品(7月21日、筑波大学サテライトオフィス) = 同部提供

奥に揺らめく炎を感じる。溢れ出る夏の熱気。そして、その熱を和らげるかのように咲く白の花々と、青の花器。湖畔の水辺を連想させた。剣山を隠すために大ぶりの葉が効果的に使われ、花がまるまるそこに自生しているように見える。

「瓶に花をさす事いにしへよりあるとほきき侍り出した。」

花瓶に花をさす事は昔からよく有る事は聞いていたが、それは美しい花のみ鑑賞し草木などの趣を理解せずただ差し生えてるだけだ。『花道古書集成』昭和45年(復刻版)。室町時代後期、池坊華道を成立させた専心は、「自然の調和」を表現する重要性を説いた。

花をのびやかに、目を見張るものがあつた。池坊華道の生け方には大きく分けて3種類の様式がある。使う花材の数や構成が決まっている「立花」と「生花」、形式がなく自由に表現できる「自由花」だ。この作品は「自由花」であり、自由だからこそ、いかにその花の魅力を最大限に引き出すかが、作者の表現力にかかっている。

比較的密集した下部と対照的に、放射状に伸びるグロリオサを間隔を

『歴史としての学問』中山茂 著

制度の側面から見た学問史

実は、こうした主題は図書館情報学の研究対象でもあるのである。図書館情報学のなかでも特に学術情報学を扱う領域では、学術情報学の生産者である研究者、生産の場である大学・学会・研究所などの学術組織、伝達手段である学術雑誌やその他の情報メディア、そして利用者である研究者に関する研究が行われています。この学術情報学研究者から始まり研究者に戻ってくる円環構造は、Subramanyam, Kの『Scientific and Technical Information Resources』(Marcel Dekker)という図書館情報学のなかで図式化されましたが、その図を中山茂が「市民のための科学論」(社会評論社)で利用しています。

私が図書館情報学の研究を始めた頃は学術情報の利用を主な主題としていたのですが、そんなときに本書に出会って大きな感銘を受けました。内容が私の研究

主題にぴったりだったこともありますが、研究とは何かを教えてくれる多くのヒントが得られたからです。ひとつだけあげると、「学問の水準とは何か?それは平たくいえば専門の問題について、一人以上の話し相手があることである」という箇所です。当時(いまでも)この言葉の意味を正確に理解していたかどうかはわかりませんが、忘れられない言葉です。

著者は文庫版の補章で、本書が英訳された後に「メディアを扱った科学史・学問史の初めての試み、と評価されたことがある」と述べていますが、最近では欧米でインテリクチュアル・ヒストリーと称する研究が歴史学の方で盛んになっているようです。日本でも、グラフトンの『テクストの擁護者たち』:近代ヨーロッパにおける人文学の誕生(勁草書房)やアレアの『情報爆発:初期近代ヨーロッパの情報管理術』(中央公論社)などが翻訳されています。本書はインテリクチュアル・ヒストリー研究の先駆ともいえるでしょう。

緑川 信之 教授 (図書館情報学)



図情学系・教授。慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程修了。博士(図書館情報学)。図書館情報学専攻学部長、同教授などを歴任。2011年より現職。

就職活動の実態を探る



大学生の就職活動(就活)の枠組みが不透明になりつつある。報道各社によると、日本経済団体連合会(経団連・東京都代田区)の中西宏明会長は9月3日、大学生の就活時期などを定める「採用選考に関する指針」を再来年にも廃止したい意向を表明。一方で、政府は9月下旬、自ら主導で再来年の就活時期を現行通り進める方針を明らかにした。だが、2022年以降の日程は未定のまま。経団連主導の「就活体制」が崩壊する可能性がある中、筑波大学生の就活の実態を探った。

(秋田耕平、國井俊介、森賀遼太、社会学類、佐藤巧基、物理学類)

21年春入社から指針廃止へ

就活制度の変遷

経団連は1997年、「新入社員採用選考に関する指針」を策定。2013年には別の指針を出し、就職説明会を3月1日、選考活動を8月1日開始と定めた。15年には選考活動の開始日を6月1日と2カ月前倒した。だが、同指針には拘束力がない。採用活動ではない、と

はな、守らない企業は多い。経団連が15年に会員企業1331社に実施した調査で回答した790社のうち、87.5%が「企業全体として、指針のスケジュールは遵守されていない」と回答した。今回、本紙の取材に応じた経団連の担当者も「指針を守って採用活動はしている」と感じていると発言。21年春以降に入社する学生から指針を廃止する考えを明らかにした。だが経団連の担当者によると、廃止時期などの具体的な方針は検討中だという。

筑波大の取り組み

筑波大の就職課では、進路の相談に加え、エントリーシート(E.S.)の添削や面接の練習、OB・OGなどの紹介、企業案内や就活情報誌の提供などを行っている。昨年度、学生が同課を訪れた個別相談件数は3000件以上。そのうち3割以上をE.S.の添削と面接の練習が占める。また、同課では就活に協力するOB・OG約4000人の名簿などが閲覧できる。

就活支援団体

■エンカレッジ筑波

京都大学の就活支援を行う学生団体「en-cou」の学生代表の阿部さん(9月4日、中央図書館で) = 國井俊介撮影



エンカレッジ筑波の阿部さん(9月4日、中央図書館で) = 國井俊介撮影

筑波大には、就活を支援する複数の学生団体がある。どの団体も、企業から内定を「E」を得て就活を終えた学生が主体となり運営している。そのうち2団体の取り組みを取材した。

「Rage」の筑波大支部で、2016年創設。現在、企業から内定を得ている24人で運営する。

年間3回行う「学内インターンウィル」は、一般的な就業体験とは異なる「選考対策セミナー」▽企業の新卒採用面接やグループディスカッション(集団討論)の練習が1日中行われる。これを通じて、自分自身と向き合い、参加者自身の強みを生かす力を磨くことができるという。

また年間を通じて、▽学生の相談に応じる「1対1の面談」▽自己分析や業界研究など、テーマごとに開かれる「選考対策セミナー」▽企業の新卒採用面接やグループディスカッションの講演▽E.S.の添削▽面接や集団討論の指導……などを行っている。

学生による就活支援の手

■TAKE@WAY



逆求人イベントを開催する TAKE@WAY 代表の岩本さん(9月3日、5C棟で) = 森賀遼太撮影

2010年に創設。年間の説明会を行う。学生にとっては、自己アピール内容を正確に把握した企業と1対1で話せ、自身にあった仕事を提案するという。一方、企業にとっても学生の強みや経験を把握し、興味のある人材を選考に勧誘できる場となる。

「逆求人」では学生個人がフリスを開き、企業の採用担当者は関心のある学生のアピール内容を見て、自社を志す学生と企業との間に、労働契約が成立した状態。一方、内定は内定を得ることを約束された状態。

「逆求人」は企業が学生向けに募集する従来の求人方法に対して、学生が自己アピールを公開して企業を募集する方法。

筑波大生の就活の実態について、就活を終えた学生に座談会を語ってもらった。参加者は▽細矢沙絵さん(社会学4年)▽木嶋公亮さん(国総4年)▽岩本怜士さん(体専4年)▽上田千恵子さん(生科前期2年)▽原田圭一郎さん(生資前期2年)▽佐藤悠樹さん(医科学2年)……の6人。

(中央図書館で森賀遼太撮影)



自身の就活状況を話す上田さん(左)と原田さん

座談会

■就活遍歴

皆さんの就活状況を教えてください。

上田 今年の3月中旬から活動を始め、化粧品業界を中心に20社ほど応募した。5月と6月に2社から研究職の内定を得た。

原田 昨年度、学内の就職セミナーから始めた。農業や食品系の企業に興味があったため、秋に業界研究を行い、冬にはインターンに参加した。実際に24社に応募して5社から内定を得た。早い企業では3

名前	就活を始めた時期	何社受けたか	何社受かったか	内々定先
細矢	昨年夏	16社	4社	通信機器メーカー
木嶋	昨年9月	41社	5社	精密化学メーカー
岩本	昨年11月	25社	2社	総合商社
上田	3月中旬	20社	2社	化粧品会社
原田	昨年夏	24社	5社	食品会社
佐藤	昨年7月	20社	3社	製薬会社

志望業界変わる場合も

月には内々定を得ていたが、7月に内々定を得た食品会社の研究職に進むことにした。

木嶋 留学から戻ってきた昨年9月から企業について調べ始めた。海外で働きたいと思い、外資系の

企業や国際展開する企業を中心に41社に応募した。外資系企業は12月から選考があった。3月から内々定が出始め、計5社から内々定をもらった。そのうち精密化学メーカーの事務職に進むことにした。

岩本 昨年11月に学内で行われた、企業の担当者からスカウトされる形の逆求人イベントに参加したが、最初の活動。業界を絞らずに企業を探していたが、次第に商社に興味を抱き、25社に応募した。6月初旬に総合商社の総務職の内々定を得て、進むことにした。



就活で苦労した経験を語る佐藤さん

その後、就活セミナーなどに足を運ぶ中で、志望をマスコミ関係に絞った。だが

また、研究室の先生にOBを紹介してもらった。細矢 企業のホームページ上の株主向けページには詳しい情報が書かれており、情報収集に役立った。

OB・OG 訪問で情報収集

木嶋 OB訪問をして、社風や社内の雰囲気などネットでは分からない情報が得た。岩本 有名な「リクナビ」「マイナビ」などの就活サイトはあまり使わず、「みんなの就活日記」などの学生の動向が分かる掲示板で実際の体験談などを参考にした。

原田 緊張もあってか、集団面接で意見を聞かれた

た。筑波大生は、同団体が個別面談で選考。イベントまでの期間、スタッフが自己アピールの準備、指導などを個別に行う。

昨年度の同団体の利用者は約120人。団体の代表の岩本怜士さん(体専4年)は「筑波大の学生数を考えればこの数字は多いとは言えないが、その分一人に密接に寄り添うことで、きめ細かい指導ができることが団体の強み」と話した。

「内定と内々定」内定は就活で学生と企業との間に、労働契約が成立した状態。一方、内々定は内定を得ることを約束された状態。

「逆求人」は企業が学生向けに募集する従来の求人方法に対して、学生が自己アピールを公開して企業を募集する方法。

岩本 適性検査の勉強があまりできておらず、直前に猛勉強した。OB訪問では食事の際、水を注ぐなどの気配りがなく、後でOBから指摘された。またお礼のメールを早めに送らないなど、目上の人への配慮が足りないことがあった。

佐藤 何度も訪れていた企業だったが、説明会の場所をしっかりと確認しなかった。現地で開催場所が違っていた気がしたが、結局その日は参加できず、後日参加になってしまった。

座談会 「30万円かかった」



座談会に参加した木嶋さん(左)と岩本さん

■学生生活への影響
—— 学業や研究、課外活動と就活をどのように両立しましたか。
細矢 4年次春学期の授業数は少なかったが、それでも面接や説明会などで日程が重なり、授業には全然出席できなかった。
上田 研究との両立が大変で、日中に東京へ就活に出かけ、夜に実験をするという生活が続いた。

インターン 実質選考に

■就活の実態

—— 経団連が定める「3月説明会開始、6月選考活動開始」という指針は守られていると思いますか。
岩本 経団連所属の大企業は建前上守っていると思う。だが、中小企業やベンチャーは年中採用しているため、関係ない。

—— 就活の費用は。
上田 交通費やスーツのクリーニング代など計約30万円かかった。特に地方へ飛行機で行った際は往復5万円かかると、負担は大きかった。

—— 経団連の大半は何かしら本選考に関する感じだ。だが、それに参加しないとか、逆に参加すれば絶対受かるわけではない。自分の予定や志望度と考慮して応募するかどうかを決めるべきだ。

—— 就活の形骸化を会長自ら認めたことには驚かない。同指針がなくなれば、更に「書田買い」が横行。学生の就活時期を早め、負担を増やす懸念もある。

—— 座談会でも指摘されたように、今後、大学入学後すぐに就活に入る可能性がある。就活が学業や研究の妨げとなれば、大学の存在意義も問われてしまう。

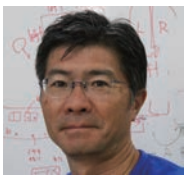
—— 今回の取材で、就活では早い時期から綿密な準備を行うことが重要だと感じた。▽自己分析▽志望業界選定▽面接や集団討論の練習▽ESの作成や添削・指導の依頼……準備することはいくらでもあるようだ。

—— 座談会での話によると、インターンや説明会、セミナーへの参加も重要で、そこから早期選考や内定につながる。30万円かかった人もおり、期間の就活が学生生活を金銭面で圧迫することは必至だ。

—— 経団連の中西会長が現在、動しながら、家族から反対され、自分の人生の選択は間違っているんじゃないかと悩むこともありました。でも、諦めて後悔するのだけは嫌で、ゲーテの言葉を信じて絵を描き続けるうちに縁が縁を呼び、「恋するクラフトビール」を出版する機会に恵まれました。

—— ビールの魅力は、年齢、職業の区別なく人を繋ぐ所です。また、味わい、デザインの多様性はほかのお酒に真似できないものです。私はこれからは、そんなビールの魅力を知っていただけたら、ビールと人をつなぐ「扉」のような作品を作っていきたいと思っています。(平成23年度芸術専門学群卒)

Hello! 先端研究



和田洋教授

生物の形態は、サルやウシ、人間など哺乳類だけでも多様だが、これらとこれら形態の違いは発生学的にどう説明できるのか。この問いに答えるべく、和田教授は「ホメオボックス遺伝子」の働きを調べ、大まかに決まるとされてきた。だが、和田洋教授

アコヤガイの遺伝子を研究してきた和田教授は、当初はアコヤガイも人間

が発生の過程でどう動くかを確かめるために、冠輪動物を用いた実験を開始。遺伝子を探り、染色し、この遺伝子の働き方を観察した。その結果「SPIRIT」という遺伝子群が冠輪動物の初期

の新しい発生システムが見い出された瞬間だった。

—— 経団連の中西会長が就活ルールを廃止する考え

—— 座談会でも指摘されたように、今後、大学入学後すぐに就活に入る可能性がある。就活が学業や研究の妨げとなれば、大学の存在意義も問われてしまう。

—— 今回の取材で、就活では早い時期から綿密な準備を行うことが重要だと感じた。▽自己分析▽志望業界選定▽面接や集団討論の練習▽ESの作成や添削・指導の依頼……準備することはいくらでもあるようだ。

—— 座談会での話によると、インターンや説明会、セミナーへの参加も重要で、そこから早期選考や内定につながる。30万円かかった人もおり、期間の就活が学生生活を金銭面で圧迫することは必至だ。

—— 経団連の中西会長が現在、動しながら、家族から反対され、自分の人生の選択は間違っているんじゃないかと悩むこともありました。でも、諦めて後悔するのだけは嫌で、ゲーテの言葉を信じて絵を描き続けるうちに縁が縁を呼び、「恋するクラフトビール」を出版する機会に恵まれました。

—— ビールの魅力は、年齢、職業の区別なく人を繋ぐ所です。また、味わい、デザインの多様性はほかのお酒に真似できないものです。私はこれからは、そんなビールの魅力を知っていただけたら、ビールと人をつなぐ「扉」のような作品を作っていきたいと思っています。(平成23年度芸術専門学群卒)

アコヤガイから新遺伝子 発生の仕組みの定説を覆す

と共通のホメオボックス遺伝子を持つ、という前提にたっていた。だが、ある時、アコヤガイに「全動物が共通のホメオボックスを持つ」という説は、ショウジョウバエやマウスなどでの実験

の発生を制御し、これ組織の形成などが決まることを突き止めた。

—— 経団連の中西会長が就活ルールを廃止する考え

—— 座談会でも指摘されたように、今後、大学入学後すぐに就活に入る可能性がある。就活が学業や研究の妨げとなれば、大学の存在意義も問われてしまう。

—— 今回の取材で、就活では早い時期から綿密な準備を行うことが重要だと感じた。▽自己分析▽志望業界選定▽面接や集団討論の練習▽ESの作成や添削・指導の依頼……準備することはいくらでもあるようだ。

—— 座談会での話によると、インターンや説明会、セミナーへの参加も重要で、そこから早期選考や内定につながる。30万円かかった人もおり、期間の就活が学生生活を金銭面で圧迫することは必至だ。

—— 経団連の中西会長が現在、動しながら、家族から反対され、自分の人生の選択は間違っているんじゃないかと悩むこともありました。でも、諦めて後悔するのだけは嫌で、ゲーテの言葉を信じて絵を描き続けるうちに縁が縁を呼び、「恋するクラフトビール」を出版する機会に恵まれました。

—— ビールの魅力は、年齢、職業の区別なく人を繋ぐ所です。また、味わい、デザインの多様性はほかのお酒に真似できないものです。私はこれからは、そんなビールの魅力を知っていただけたら、ビールと人をつなぐ「扉」のような作品を作っていきたいと思っています。(平成23年度芸術専門学群卒)

手紙



イラストレーター TOA さん

ビールが大好きなイラストレーターTOA(本名・久保紗織)です。筑波大学芸術専門学群ビジュアルデザイン専攻を2011年に卒業しました。12年からビールをテーマにしたイラストを描き始め、今年の6月に漫画でクラフトビールの魅力や歴史を紹介する書籍「恋するクラフトビール」をKADOKAWA

より出版しました。小さい頃から絵を描くことが大好きで、迷わず芸専を受験したのですが、与えられた課題をこなすことがつまらなく感じて創作意欲を失い、作品と呼べるものをほとんど作りませんでした。卒業し特にやりたいこともないまま入社した会社はブラック企業でした。

—— 座談会でも指摘されたように、今後、大学入学後すぐに就活に入る可能性がある。就活が学業や研究の妨げとなれば、大学の存在意義も問われてしまう。

—— 今回の取材で、就活では早い時期から綿密な準備を行うことが重要だと感じた。▽自己分析▽志望業界選定▽面接や集団討論の練習▽ESの作成や添削・指導の依頼……準備することはいくらでもあるようだ。

—— 座談会での話によると、インターンや説明会、セミナーへの参加も重要で、そこから早期選考や内定につながる。30万円かかった人もおり、期間の就活が学生生活を金銭面で圧迫することは必至だ。

—— 経団連の中西会長が現在、動しながら、家族から反対され、自分の人生の選択は間違っているんじゃないかと悩むこともありました。でも、諦めて後悔するのだけは嫌で、ゲーテの言葉を信じて絵を描き続けるうちに縁が縁を呼び、「恋するクラフトビール」を出版する機会に恵まれました。



TOAさんの著作「恋するクラフトビール」

ビールの魅力を漫画で伝える

—— ビールの魅力は、年齢、職業の区別なく人を繋ぐ所です。また、味わい、デザインの多様性はほかのお酒に真似できないものです。私はこれからは、そんなビールの魅力を知っていただけたら、ビールと人をつなぐ「扉」のような作品を作っていきたいと思っています。(平成23年度芸術専門学群卒)

アジア大会 筑波大生の活躍光る



アジア王者となり、東京五輪に向け弾みをつけた梶原(8月29日、ジャカルタで) = 本人提供

自転車

女子オムニウムは8月29日に行われ、梶原悠未(体3年)が金メダルを獲得した。

インドネシア・ジャカルタ、パレンバンで8月18日から9月2日にアジア大会が行われた。筑波大からは、自転車の女子オムニウムで梶原悠未(体専3年)が金メダルを獲得した。また、陸上男子走り高跳びの戸邊直人(コーナ3年)、レスリング男子フリースタイル57kg級の高橋侑希(体育2年)がそれぞれ銅メダルを獲得した。その他にも多くの選手が入賞するなど、筑波大生の活躍が目立った。

梶原オムニウムで「金」



試合終盤、大外刈で技ありを奪う関根(上)(9月9日、決勝・清水戦で)

全日本ジュニア体重別

男子100kg級 関根が優勝

柔道

【埼玉県立武道館(埼玉県上尾市)で池田花於里(比較文化学類2年)写真も12面に関連写真】全日本ジュニア体重別選手権が9月8、9日に行われた。男子100kg級で関根聖隆(体専1年)が優勝し、10月の世界ジュニア選手権への出場を決めた。また、同日の男子100kg級では、昨年準優勝の関根が出場。盤石の戦いで初戦、3回戦を突破した後、準決勝では神垣和也(明治大)と対戦した。序盤から激しい攻防を繰り広げたが、最後

大外刈で技あり奪う

な攻めの姿勢を見せ決勝に進出。だが、決勝では、塚本綾(日本体育大)に残り約1分半で技ありを奪われ、惜敗した。9日の女子78kg超級では、桑田が準決勝まで相手の反則負けによる優勢勝ちを重ねた。だが、決勝では開始約2分半で3度目の指導を取られ反則負けした。同日の男子100kg級では、昨年準優勝の関根が出場。盤石の戦いで初戦、3回戦を突破した後、準決勝では神垣和也(明治大)と対戦した。序盤から激しい攻防を繰り広げたが、最後

は関根が大外刈で一本を奪い、決勝へ駒を進めた。決勝の相手は清水雅義(国士舘大)。激しい攻防の中、中盤で関根が一度、清水に2度の指導を与えられた。残り1分を切るまで、関根が一本背負投から大外刈を仕掛けて技ありを奪い、優勢勝ちで優勝に輝いた。関根は「うれしいというよりほっとした。今まで全大会の決勝に4度進出したが全部2位で終わっていた。シルバークレクターの名を払拭したかった」と話した。また、東京五輪については「今年活躍しないと聞かれない」とし、「今年はずっと大会で優勝したい」と意気込んだ。

女子5位でシード権

水泳競技

インカレ

【横浜国際プール(横浜市中区)で明石尚之(体専3年)が59秒14で3位に入った。3日目の200m平泳ぎでは赤石咲乃(同2年)が前半から積極的な泳ぎを見せ、2分28秒24で4位と躍進した。

また、7日の女子400mフリーリレーでは1位の日本大と0.47秒差に迫る3分44秒98で2位を獲得すると、2日目の女子400mメドレーリレーでも3位の東洋大との大接戦を制し、4分4秒73で2位に入った。

女子単複優勝

テニス

全日本学生選手権(インカレ)が8月9〜21日に岐阜メモリアルセンター(岐阜市)で行われ、牛島里咲(体専4年)が女子シングルス優勝、牛島・森崎可南子(同4年)が女子ダブルス優勝を飾った。牛島は単複2冠、森崎はダブルス2連覇を果たした。(木村誠)

戸邊 走高跳で銅

男子走り高跳び決勝が8月27日に行われ、戸邊直人(コーナ3年)が2m24で銅メダルを獲得した。昨年の歴代2位の2m32の記録を持つ戸邊は、2m24までは全て1回で成功。だが、2m28を跳べず、金メダルには届かなかった。(小池凜太郎)

陸上

男子フリースタイル57kg級は8月19日に行われ、高橋侑希(体育2年)が銅メダルを獲得した。昨年の世界選手権覇者の高橋は、初戦で今大会優勝の北朝鮮の選手に敗戦。だが、その後は敗者復活戦を勝ち上がり、3日決定戦で中国の選手を破った。(小池凜太郎)

レスリング

男子フリースタイル57kg級は8月19日に行われ、高橋侑希(体育2年)が銅メダルを獲得した。昨年の世界選手権覇者の高橋は、初戦で今大会優勝の北朝鮮の選手に敗戦。だが、その後は敗者復活戦を勝ち上がり、3日決定戦で中国の選手を破った。(小池凜太郎)

筑波大生 その他の主な記録

- ◆サッカー
 - 【男子】▽三哲薫(体専3年) 銀メダル
 - 【女子】▽トラク チー ムバシユート 4000メダル
- ◆陸上
 - ▽混合4×400mリレー山下潤(体専3年) 5位
- ◆柔道
 - 【男子】▽81kg級 佐々木健志(体専4年) 5位
 - 【女子】▽52kg級 深見利佐子(世界遺産2年) 銅メダル
 - 【男子】▽小澤由輝(体専3年) 5位
 - ◆バスケケットボール
 - 【男子】▽玉木祥護(体専4年) 7位

専修大に完勝

サッカー

関東大学リーグ戦

【岩倉運動公園陸上競技場(千葉県佐倉市)で飯田健介(社会学類2年)写真も12面に関連写真】4月に始まった関東大学リーグ戦が2カ月の中断期間を経て9月に再開した。筑波大は9月16日に専修大と対戦し、2-0で勝利。全日本大学選手権(インカレ)出場圏の6位以内に向けて勝ち点を積み重ねた。筑波大は6勝3分4敗で4位につけている(9月23日現在)。序盤から互いにゴールに迫り、激しい攻防が続いた。前半33分、三哲薫(体専3年)のパスを受けた高嶺朋樹(同3年)が抜け出してシュートを決め、筑波大が先制した。その後はチャン



2点目となるPKを決めた小笠原(左)(9月16日、専修大戦で)

後半は専修大に攻め込まれる場面が増えたが、キーパーの阿部航斗(同3年)が好セーブを連発。相手にゴールを許さなかった。後半39分には、三哲が左サイドを突破し、ペナルティエリア内に侵入した際にフェールを受けPKを獲得した。これを主将の小笠原佳祐(同4年)が決め、そのまま試合終了。2-0で筑波大が完封勝利した。小井土正亮監督(体育系・助教)は「久しぶりの公式戦だったが90分間(集中)を切らさずに戦えた。阿部を中心に守備陣が失点を0に抑えられたのが収穫だ。インカレ制覇を目指す中で筑波大らしさが出た試合になった」と語った。

広告欄

日本インカレ 女子優勝・男子3位



女子三段跳びで優勝を果たした剣持 (9月8日、等々力陸上競技場で) = 陸上競技部提供



陸上 大学日本一を決める日本インカレが9月6-9日に(中原区)で行われた。

陸上競技部が関東学生対校選手権(関東インカレ)に引き続き、近年まれにみる好成績を残している。日本学生対校選手権(日本インカレ)では、女子が4年ぶりの総合優勝を決め、男子は総合3位となった。男子2000m以下(体専3年)の女子三段跳びで、女子三段跳びで江原宇由(同4年)がそれぞれ悲願の初優勝を達成。また、U20世界陸上では、女子やり投げで桑添友花(同2年)が初の国際大会ながら銀メダルを獲得した。(森賀太二社会学類2年)



相手と間合いをとる星子(右)(7月8日、準決勝で) = 後藤佳怡撮影

星子 3位に終わる

全日本学生選手権

剣道

【日本武道館(東京都千代田区)で西村大祐(人文)学類1年、山本楓(比較文化)学類3年、後藤佳怡(社会学類1年)個人戦で争う全日本学生選手権が7月8日に行われ、星子啓太(体専2年)が3位入賞を果たした。また、全日本女子学生選手権が7月7日に行われ、竹中美帆(同3年)がベスト8に入った。

優勝候補筆頭として臨んだ星子は初戦をメンとコテの2本勝ちで突破した。5回戦は延長戦までもつれ込んだが、最後にドウを決め勝利。続く準決勝では内橋響希(鹿屋体育大)と対戦した。星子は中盤に相手

剣持ら3人が初優勝

の飛び出しを見極めてメンを決め、4強に進出した。準決勝では今大会で優勝した矢野貴之(国十館)と対戦。序盤から相手にタイミングよく攻められる展開が続いた。そして中盤に互いに前に飛びメンを放ったが、それが相手の一本となり敗戦。昨年同様3位に終わった。

女子は14種目で入賞し、総合1位。昨年王者の日本体育大に大差をつけ4年ぶりの日本一に輝いた。

女子三段跳びでは昨年1センチ差で優勝を逃していた剣持が初優勝。今年も5回目の試技で13.04mを記録し、これまで12.95mで1位だった中村紗華(順天堂大)を逆転した。最後の試技では13.12mと更に記録を伸ばし、悲願の初優勝を果たした。

の飛び出しを見極めてメンを決め、4強に進出した。準決勝では今大会で優勝した矢野貴之(国十館)と対戦。序盤から相手にタイミングよく攻められる展開が続いた。そして中盤に互いに前に飛びメンを放ったが、それが相手の一本となり敗戦。昨年同様3位に終わった。

世界選手権男子団体

星子 優勝に貢献

世界選手権が9月14-16日に韓国・仁川で開催された。筑波大の星子啓太(体専2年)が男子団体戦に日本代表として出場し、日本の4連覇に貢献した。

16日に行われた男子団体戦決勝・韓国戦で、星子は次鋒として出場。試合中盤にコテを先取し一本勝ちした。続く中堅戦では、竹ノ内佑也(平成27年度体育専門学群卒)がメンで一本勝ち。副将戦と大将戦は1敗1分けとなったが、結果2対1で日本が勝利した。星子の勝利は日本の優勝に大きく貢献した。(後藤佳怡)

の日本一に輝いた。剣持は「至6回の試技の中で調子を上げられたことが勝因だと思う。今後は日本記録に挑戦したい」と話した。

男子では、2000m以下で20秒66で初優勝を果たすなど10種目で入賞。昨年の総合7位から躍進し、総合3位となった。

山下は「(相手との)実力を比べると絶対に勝たなければいけない状況だったので優勝できて安心した。今季はあと国民体育大会を残すのみ。気を抜かず走り続けたい」と話した。

U20世界陸上は7月10-15日にフィンランド・タンペレで行われた。女子やり投げでは、桑添友花が決勝の第3投目に55.66mをマーク。1位と29センチ差で、自身の国際大会で銀メダルに輝いた。

桑添は「初の国際大会で不慣れなこともあったが、結果には満足している。来年のユニバーシアード出場を目指したい」と話した。

「絶対王者」筑波大を率いる

大阪府生まれ。兄の影響で小学2年で競技を始めた。練習も厳しく、高校内部進学の際には競技を続けるか悩んだ。だが、精神面の成長を重視する顧問の指導で競技続行を決心。同時にバドミントンには仲間との信頼関係が



インカレ5連覇狙うバドミントン部女子主将 安田美空(体専3年)

大OBの顧問から勧められたことが決め手。1年目からレギュラーに抜擢されたが、「期待に応えなければならぬ」と常に大きな重圧を感じ、ストレスを溜めた。そして10月のインカレ直前、体

ラに定着できなかった。練習も厳しく、高校内部進学の際には競技を続けるか悩んだ。だが、精神面の成長を重視する顧問の指導で競技続行を決心。同時にバドミントンには仲間との信頼関係が

スポーツの顔

昨年の全日本大学選手権(インカレ)で女子団体4連覇を果たした筑波大バドミントン部。決勝では第1シングルスを抑え、勝利に貢献した。今年からは主将を務め、「絶対王者」として名を馳せるチームを引っ張る。

シングルスでの強みは分析力。球を読み、相手の弱点を突くことで試合を有利に運ぶ。ダブルスでは相方に応じてプレー

大切だと気づき、「誰にでも応援される選手」を目指すと決意した。高校ではレギュラーに定着し、3年時に主将に就任。インターハイではチームを優勝に導いた。筑波大への進学は筑波



文部科学大臣賞を受賞したダンス部(8月9日、神戸文化ホールで) = 同部提供

文部科学大臣賞受賞

ダンス 全国高校・大学フェスティバル 全国の高校生・大学生を対象にした創作ダンス競技会の全日本高校・大学ダンスフェスティバルが8月7-9日に神戸文化ホール(神戸市中央区)で開催された。筑波大ダンス部は作品『巡礼』を発表し、最も

完成度の高い作品に贈られる文部科学大臣賞を受賞した。筑波大の同賞の受賞は2年ぶりの13回目。

「絶対王者」筑波大を率いる。安田美空(体専3年)は、5月の関東大学春季リーグ戦では出場した10戦全勝。圧巻の活躍で、今季ぶり優勝の立役者となった。「昨年末では先輩に頼ることができたが、今年には自分が負けなければチームが負ける。その緊張感の中で戦った。」

今後は10月のインカレで団体戦5連覇をもちろんと、シングルス・ダブルスも合わせ3冠を目指す。また、全日本総合選手権でのベスト8も見据え、「先輩を超える結果を残したい」と意気込む。「絶対王者」筑波大を率いる主将として、今後も活躍が期待される。(吉永真理社会学類3年 写真・明石尚之)

無銭使用、売上金盗難…… 宿舎シャワー不正使用



不正使用されたシャワー室(9月21日、平砂学生宿舎で) = 木村誠撮影

筑波大学の平砂、追越一の各学生宿舎に設置されるコインシャワー(一回100円)を、特定の操作を行い無料で使用する不正行為が続いていたことがシャワーの管理業者などへの取材で分かった。業者によると過去には、硬貨の変造による不正使用や、料金箱から金を盗み取った形跡もあった。一部の学生は本紙に自らの不正使用を認めており、学生生活課の担当者は「今後、不正使用が発覚した棟ではシャワーの使用停止も検討している」と話している。

(木村誠、越智小夏、後藤佳伶)

業者によると、不正使用をされたまま元に戻して

業者によると、不正使用が発覚後、同課に報告。同課はその都度、張り紙で注意喚起を行った。業者は、今後再発した場合、不正使用の防止のため、1台4、5万円をかけたシャワー室の部品を交換するという。

同様の不正はこれまでも続いており、昨年まで宿舎に住んでいた学生は本紙に「宿舎の友人から操作方法を教えてもらい、無料で何度も使用してしまった。罪の意識はあまりなかった」と話している。

宿舎を 問う

一方、業者によると

2013〜16年には、細工を施した硬貨を使用し不正を試みた例を3件確認。いずれも未遂だったが、これで機械が故障し、発覚した。また11年には、シャワー室の料金回収箱から売上金を盗み取った形跡を業者が発見。警察に被害届は出していないが、これらの不正も同課に報告され、今回同様、同課はその都度、宿舎に警告文を掲示していた。

業者は「無銭使用には筑波大と協力して対応したい」と話している。

記者の目

今回のシャワーの不正使用は、犯罪ともとれる重大な問題だ。このような不正が学生間で横行していることに対し、同じ学生として強い憤りを感じる。

本紙ではこれまで、宿舎の補給室や廊下などにゴミを放置するなどの、学生のマナーの悪さを報じてきた。その際の学生のマナーには失望したが、今回の不正使用は、これらとは段違いの大問題だ。

「周囲の人ややっている」「どうせ誰も見ていない」といった短絡的な気持ちで、不正使用を繰り返してはいないだろうか。もしそうならば言語道断だ。そして不正を行う学友には、それを指摘する勇気を持ちたい。」

「罪の意識、あまりなかった」

「不正使用されたシャワー室(9月21日、平砂学生宿舎で) = 木村誠撮影」

大学構内で宣伝行為多発

「免許合宿」チラシ配布も

筑波大学構内で今年、業者が無許可で営利目的の宣伝行為を行う例が多発していることが学生生活課などでアルバイト募集チラシや広告付きポケットティッシュの配布▽宿舎の郵便受け

に不動産のチラシを投函……などが確認されており、同課はその都度企業への注意を行っている。同課によると、筑波大は大学構内が関係者以外立ち入り禁止で、学生と食堂などを統括する福利厚生委員会や所属業者を除き、宿舎

の郵便受けに「免許合宿」のチラシを配布する業者が発見された。この業者は「(学生に)チラシを挿入するだけでいい」と話している。

「(学生に)チラシを挿入するだけでいい」と話している。

「(学生に)チラシを挿入するだけでいい」と話している。



宿舎の郵便受け(9月21日、平砂学生宿舎で) = 木村誠撮影

「(学生に)チラシを挿入するだけでいい」と話している。

「(学生に)チラシを挿入するだけでいい」と話している。

「(学生に)チラシを挿入するだけでいい」と話している。

「(学生に)チラシを挿入するだけでいい」と話している。

「(学生に)チラシを挿入するだけでいい」と話している。

「(学生に)チラシを挿入するだけでいい」と話している。

「(学生に)チラシを挿入するだけでいい」と話している。

大学説明会開催

高校生が模擬授業体験

「受験生のための筑波大説明会」が8月4、5、11日に筑波大で開催され、学類・専門学群ごとに模擬授業や学生の受験体験の紹介などが行われた。会場には受験や留学の体験を紹介した先輩から多くの高校生や保護者が訪れた。

4日の芸術専門学群の説明会では、初めに全体説明会が行われ、在学生やOBが受験や留学の体験を紹介した。午後からは、芸術学、美術、構成、デザインの各専攻に分かれ、教員らが個別に相談に応じた。

デザイン専攻を見学した高校生は、「自分が留学を考えているミラフに留学した先輩から話を聞いた。筑波大に入学し留学したいという思いが強くなった」と話した。

5日の社会学類の説明会では、土井隆義教授(人社会)による「犯罪社会学入門」などの模擬授業が行われた。土井教授は2000年以降における刑法犯の減少傾向について解説した。

参加した高校生は「初参加だったが、筑波大の様子を知ることができ、良かった」と話した。

(大森春歌、写真も)



芸術専門学群の説明を聞く高校生(8月4日、大会館ホールで)

短期雇用の時給値上げ

筑波大学は、茨城県が最低賃金を882円(前年度比26円増)に引き上げたことを受けて、10月1日から短期雇用の時間給を、これまでの820円から830円に引き上げる。これは、筑波大学本部等非常勤職員の勤務時間及び報酬に関する規則に基づいて、時間給が最低賃金を下回らないように対応したもの。

短期雇用は、1カ月以内の期間で採用する雇用形態。筑波大では、大学説明会やシンポジウムでの運営補助員、実験動物の維持・管理などが対象で、主に学生人材バンクのホームページなどで募集される。一方、コックが必要で、標高が高い場所での炊く場合は、水の量を増やすなどの工夫をすることもある。

翌日は早朝に出発した。また薄暗く、ヘッドライトを付ける。早朝の山特有のひんやりとした空気も登山の一興だ。つづら折りの道を超え、ついに山頂へ。周囲の山々を見下ろすと、仲間と共に登り切った喜びが伝わってきた。会員の大瀬春樹さん(社上2年)も、「東京最高峰からの眺めはなかなかのもの」と笑顔に。

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

登山の楽しさを支えているのが、日々のトレーニングや会議だ。山では豊かな自然を楽しめる一年)

探る tanbō

7月下旬の雲取山。2017年と東京都最高峰の高さを誇る山を一步登る。体力の浪費を抑えるため、歩幅は小さく、後ろを振り返ると早朝に出発したテント場が米粒のように見える。稜線に出ると一気に入界が開け、雄大な山々が登山サークル「ワンダーフォーゲルクラブ」の面々を迎えてくれた。

会員は約40人。登山は長期の休みや土日に行う。近場での

この日の食事は肉じゃが。携帯用ガスバーナーで調理する。山でご飯を炊くのは平地と違った

予測する。

この日の食事は肉じゃが。携帯用ガスバーナーで調理する。山でご飯を炊くのは平地と違った

予測する。

予測する。



山を登る会員たち(7月21日、雲取山で) = 同部提供

仲間とともに登る達成感

予測する。

予測する。

予測する。

予測する。

予測する。

予測する。

Who's Who?

バレーボール日本代表が使用するブロックマシンを開発

佐藤 綱祐 さん (EMP 後期3年)



VR研究で世界最先端を走る佐藤さん (7月18日、エンパワースタジオで)

工学の技術をスポーツ界で利用するスポーツ工学分野の最先端で研究を続ける。特にバレーボールの練習で使用される「ブロックマシン」に関する研究は、ロボット工学で最も権威ある学会で最優秀論文賞を受賞し、日本代表の練習でも実用化されている。これらの研究が評価され、今年3月には学長表彰を受けた。

東京都出身。機械整備士の父

や造船士の祖父の背中を見て育った。小中学生の頃はサッカーに励むスポーツ少年だったが高専時代に転機が訪れる。科学技術科が設置された高校で情報・コンピュータサイエンス分野を修学。そこで「ロボットを作りたい」という思いが芽生え、筑波大学の工学システム学類に進学した。

進学後は、子どもの頃夢中になったスポーツを「だれでも楽しめるもの」にしたいという思いから、スポーツ工学が研究できるエンパワーメント情報学プログラムへと進み、現在のパーソナルリアリティ研究室に入った。

最も力を注ぐ研究はバレーボールの「ブロックマシン」の開発だ。2014年に文部科学省マルチスポーツ事業(現スポーツ庁ハイパフォーマンス・サポート事業)や日本バレーボール協会から、身長が低い日本人選手のために、高身長のプロックを想定した練習ができるマシンを作りたいという要請が届き、研究が始まった。

スポーツと工学の融合 国際学会で最優秀論文賞

マシンは当初女子日本代表のみで利用する予定だったが、効用が評価され、今年5月からは男子日本代表の練習でも導入された。対象が女子から男女兼用となったことで、打点の高さや

どの細部までタブレット端末で変更できる。これによりさまざまな状況を正確に再現でき、世界トップレベルの対戦相手を想定した練習を実現している。

開発中は「腕」の作りこまれた。人間の腕の硬さを再現するために、さまざまな種類のゴムを検証。また指も、ボールが当たった時の「しなり」を再現するために、強度を持ちながら人間の指のようにしなるように研究を重ねた。何十回も強度試験を行った結果、実際に試合で行われるプロックをほぼ完全に再現できる」と話す。マシンは16年に完成し、リオデジャネイロ五輪直前からバレーボール女子日本代表の練習に導入された。

マシンは当初女子日本代表のみで利用する予定だったが、効用が評価され、今年5月からは男子日本代表の練習でも導入された。対象が女子から男女兼用となったことで、打点の高さや

哺乳類の骨化石を再鑑定

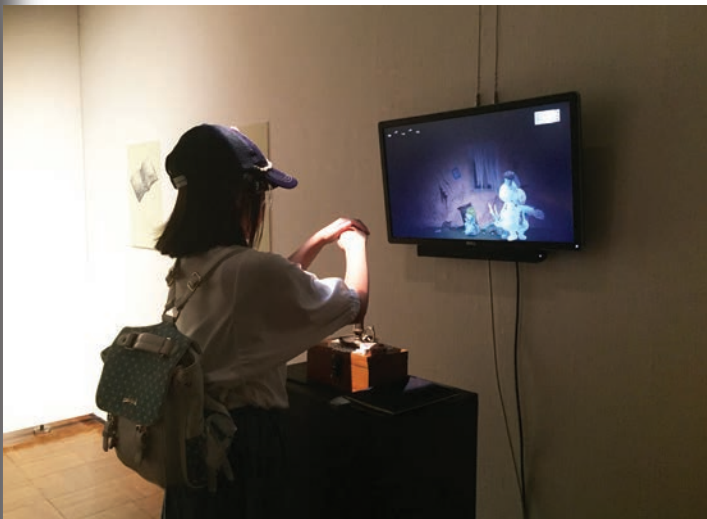


パレオパロドキシアの復元図=新村龍也・足寄動物化石博物館作成、上松佐知子准教授提供

2面へ

学内総合

メディアアートフェス



光センサーを使い登場人物を操作するゲームで遊ぶ来場者 (8月4日、つくば美術館で) =越智小夏撮影

5面へ

学芸

全日本ジュニア体重別



技を掛ける石郷岡(右) (9月8日、埼玉県立武道館で) =池田花于里撮影

8面へ

スポーツ

関東大学リーグ戦



ドリブルを仕掛ける三苫(右) (9月16日、岩名運動公園陸上競技場で) =飯田健介撮影

8面へ

スポーツ

編集後記

8月下旬、本紙は性的少数者への理解が進むオンラインで約1週間、特派員団を派遣しました。今号では第一弾として、世界初の同性結婚法制定に尽力した元アムステルダム市長のヨブ・コーヘン氏への単独会員を掲載(1,2面)。次号以降も特集面などで取り扱っていきます▼私事ですが、取材の最中、祖父が亡くなりました。はるか9000年前に接するとは、思いもよらなかった。改めて新聞を作る意味を考えています。祖父は享年85でした。(編集長・秋田耕平)社会学類3年

編集・発行

筑波大学新聞編集委員会

▽委員長 土井隆義(人文社会学系・教授) 社会学系

▽副委員長 土子昇(学生部学生支援業務推進担当課長) 社会学系

▽編集委員 菅谷純子(生命環境系・教授) 果樹園芸学

▽竹中佳彦(人文社会学系・教授) 政治学

▽筑波大学新聞編集部

▽編集代表 福原直樹(筑波大学・教授) ジャーナリズム論

▽編集長 田耕平(社会学類3年) 社会学系

▽副編集長 越智小夏(比較文化学類3年) 益本健太(人文学類3年)

ほか編集部員28人

発行 筑波大学

印刷 ヒラマ写真製版

次号は

11月6日(火)

発行予定です